

平成27年第2回笠間市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成27年2月20日(金) 午後2時30分開議
2. 招集場所 笠間市教育委員会庁舎 会議室
3. 会議録署名人 教育委員 小野瀬 彰
4. 出席者 教育委員 5名
事務局 10名
5. 傍聴人 なし
6. 提出された議題(議事) 以下のとおり
7. 会議の概要
 - (1) 開会
平澤委員長 午後2時30分開会を宣す。
 - (2) 議事録署名人の指名
平澤委員長 小野瀬委員を指名する。
 - (3) 教育長の報告
今泉教育長 別紙により教育長事務報告をする。
平澤委員長 教育長の事務報告が終わりました。委員の意見を求めます。
各委員 (特になしの声)
平澤委員長 それでは、教育長の報告については、以上のとおりとします。
 - (4) 議事
平澤委員長 続きまして、議事に入ります。報告第3号ですが、本件は特定の個人が識別される案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項の規定に基づき、審議を非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。
各委員 (異議なしの声)
平澤委員長 それでは、異議なしと認め、報告第3号を非公開といたします。

【報告第3号】
(非公開)

平澤委員長 それでは、非公開の案件が終了しましたので会議の非公開を解除いたします。

平澤委員長 次に「議案第1号 笠間市立学校医の解職及び委嘱並びに担当校変更について」を上程し、事務局より説明を求めます。

事務局 原案に基づいて説明をする。

平澤委員長 これより質疑に入りますが、何かご質問等がございますか。

井上委員 内容に関しての質問ではないですが、笠間市は合併して10年経ちますが、笠間地区だけ耳鼻科と眼科の先生が検診を行っていて、旧友部、岩間については耳鼻科と眼科に関しては、現時点では委嘱されていないわけですね。今後何年程度でどの地域でも同じような検診が受けられるように統一させていくか考えはありますか。

事務局 学務課としては考えているのですが、なかなか耳鼻科、眼科の先生に行っていただけないという現状です。

ただ、内科の先生でも検診が可能ですので、専門医ではありませんが、同様に診ていただいております。

すべての学校で同じような形で検診は実施されています。

井上委員 わかりました。

平澤委員長 ほかに何かご質問等がございますか。

各委員 (特になしの声)

平澤委員長 それでは、採決に入りますが、原案のとおり可決することに異議ございませんでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

平澤委員長 異議なしと認め、「議案第1号 笠間市立学校医の解職及び委嘱並びに担当校変更について」は、原案のとおり可決いたします。

平澤委員長 次に「議案第2号 平成27年第1回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて」を上程し、事務局より説明を求めます。

事務局 原案に基づいて説明をする。

平澤委員長 これより質疑に入りますが、何かご質問等がございますか。

柴山委員 認定子ども園になって、保育料が17,000円になると、民間とはかなり違う額ですか。

事務局 いえ、私立幼稚園もまったく同じ額になります。今回の法律については、所得に応じたもので定めるということになっております。

今までのように、一律で5,500円ということには出来ませんので、私立幼稚園もまったく同じです。

私立幼稚園につきましては、今年、27年4月からこの金額で徴収を始めます。

事務局 これまで保育園では国の基準があつて、笠間市では三十数パーセント減額していましたが、公立私立関係なく料金を決めてやっていた。幼稚園については基準がないのでそれぞれの設置者が独自に保育

料を決められたわけです。保育園は統一していましたが、幼稚園はバラバラでした。幼稚園は保育園とくらべて料金的な差があり、何年か前から幼保一元化という流れがあつて、認定子ども園制度が出来て同じ子供を預けるのに幼稚園と保育園で料金がバラバラではおかしいだろう。幼稚園保育園関係なく、認定子ども園になったからにはすべて統一することが必要でしょうということで制度がそういうことになってきた。公立私立行き先が違うだけで金額が違うという、税の公平負担という観点から同一であるべきだというのが笠間市の考え方です。今回の改正で、公立私立まったく区別のない料金体制にするということです。

柴山委員 ということは保育所職員の正職員が少ないという現状だと思いますが、こういった金額を増やすことで人員が増える可能性はあるわけですか。

事務局 今までは幼保一元化、認定子ども園の移行を踏まえて採用しなかったというのは事実です。

今後は、笠間幼稚園、寺崎保育所と一緒に若手職員に余裕が出るだろうということです。

また、保育所も、民間への移行を検討している部分がありますので、ここ数年保育士、幼稚園教諭の採用を控えていたので非常勤職員の割合が多くなったわけです。今回、笠間と稲田に認定子ども園ができますと若干それは改正されます。

認定子ども園が平成 29 年からの形が決まれば職員採用もある程度の比率までは正職員でなくてはいけないという考え方もありますので、そうすると採用がでてくるのではないかと思います。現状では確かに非常勤の方が多いです。

柴山委員 親からすれば、非常勤の方と聞くよりは、正職員の方がきちんとやってくれているというほうが本当はいいんですよね。

事務局 教育委員会としてはずっとそのように思っております。

市全体の職員採用の方針、民間への移行という考えもありまして、要望はしていましたがここ数年でやっと 1 名笠間幼稚園で採用をしていただいております。昨年度も保育所で 1 名採用してもらっています。平成 29 年の人事の将来推計にはかなり良くなっている予定ではあります。少なくとも担任は正職員になる予定でおります。

柴山委員 わかりました。

平澤委員長 ほかに何かご質問等はございますか。

各委員 (特になしの声)

平澤委員長 それでは、採決に入りますが、原案のとおり可決することに異議ございませんでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

平澤委員長 異議なしと認め、「議案第 2 号 平成 27 年第 1 回笠間市議会定例会

提出議案に同意することについて」は、原案のとおり可決いたします。

(5) その他 なし

(6) 閉会
平澤委員長 午後4時29分閉会を宣す。

8. 議決事項

報告第3号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第1号	笠間市立学校医の解職及び委嘱並びに担当校変更について	可決
議案第2号	平成27年第1回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	可決